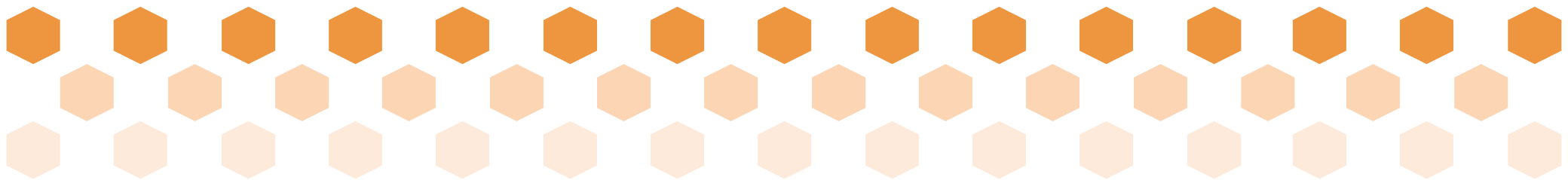


平成29年農林水産物・食品の輸出実績 (品目別)



平成30年4月

農林水産省

食料産業局輸出促進課

品目別内訳2		
加工食品の内訳3	野菜・果実等の内訳22
アルコール飲料4	りんご23
日本酒(清酒)5	ぶどう24
ビール6	ながいも25
ソース混合調味料7	いちご26
醤油8	もも27
みそ9	なし28
清涼飲料水10	かんしょ29
菓子(米菓を除く)11	うんしゅうみかん等30
米菓12	かき31
畜産品の内訳13	その他農産物の内訳32
牛肉14	緑茶33
粉乳(育児用調製品ほか)15	植木等34
鶏肉16	切花35
鶏卵17		
豚肉18	林産物の内訳36
牛乳19	丸太37
		合板38
		製材39
穀物等の内訳20		
米(援助用除く)21		
		水産物(水産調製品以外)の内訳40
		ホタテ貝(生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)41
		真珠42
		さば43
		ぶり44
		かつお・まぐろ類45
		さけ・ます46
		いわし47
		錦鯉等観賞用魚48
		たい49
		すけとうたら50
		水産調製品の内訳51
		なまこ(調製)52
		練り製品(魚肉ソーセージ等)53
		ホタテ貝(調製品)54

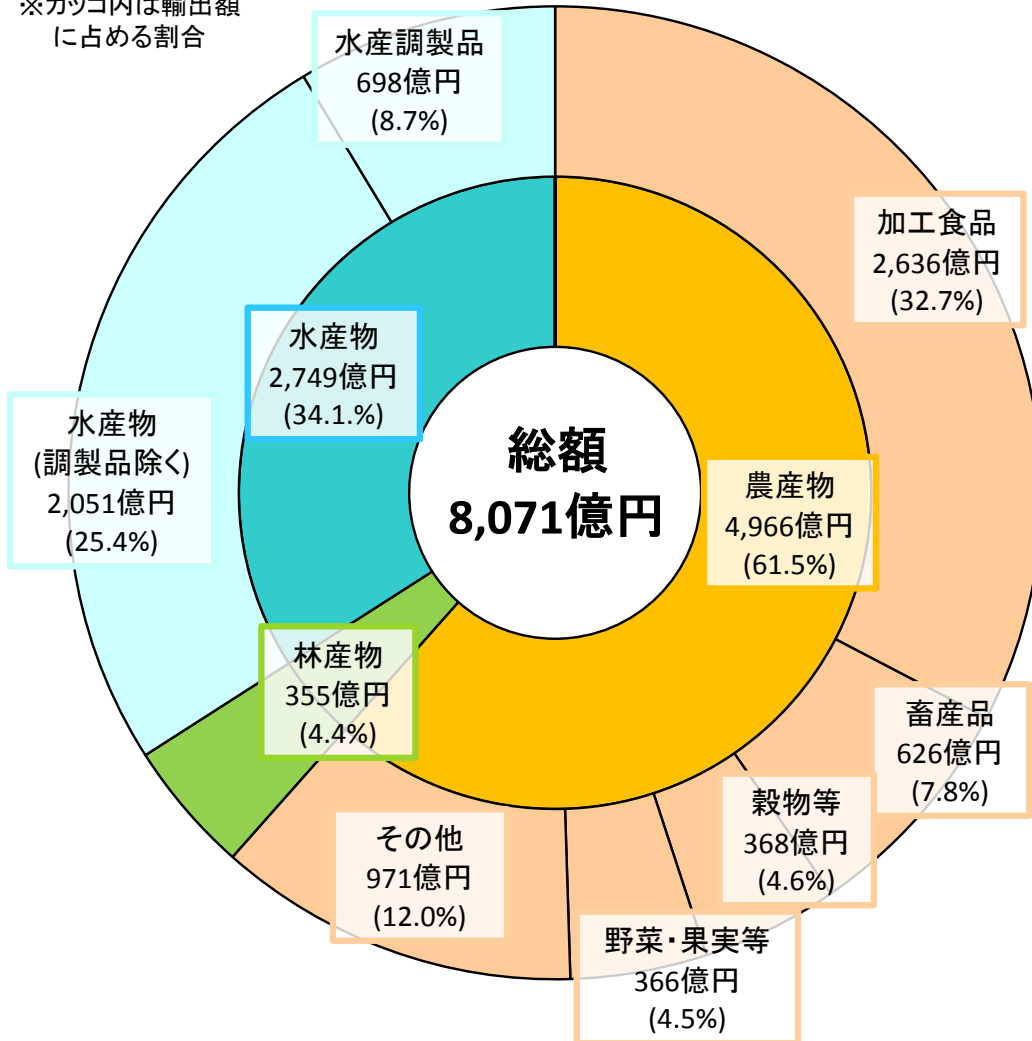
【利用上の注意】

- 本資料は、農林水産物・食品の輸出に取り組む者や、これから取り組もうと考えている者の参考としていただくため、財務省が公表している「貿易統計」から、我が国の農林水産物・食品の輸出実績のうち、主な品目について取りまとめたものです。
- 本資料の作成に当たっては、誤りのないよう、細心の注意を払っておりますが、万が一、誤りがあった場合でも、農林水産省は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

平成29年農林水産物・食品の輸出額の品目別内訳

●農林水産物・食品の輸出額を品目別で見ると、水産物が34%、加工食品が33%を占める。

(平成29年)
※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目	平成28年 2016年	平成29年 2017年	増減率
農林水産物	7,502	8,071	7.6%
農産物	4,593	4,966	8.1%
加工食品 (アルコール飲料、調味料、清涼飲料水、菓子等)	2,355	2,636	11.9%
畜産品 (食肉、酪農品、鶏卵、牛・豚等の皮等)	510	626	22.6%
穀物等 (小麦粉、米等)	378	368	▲2.8%
野菜・果実等 (青果物、果汁、野菜・果実の缶詰等)	377	366	▲2.9%
その他農産物 (たばこ、播種用の種、花き、茶等)	973	971	▲0.1%
林産物 (丸太、製材、合板等)	268	355	32.3%
水産物	2,640	2,749	4.1%
水産物 (調製品除く) (生鮮魚介類、真珠(天然・養殖)等)	1,954	2,051	4.9%
水産調製品 (水産缶詰、練り製品(魚肉ソーセージ等)等)	686	698	1.8%

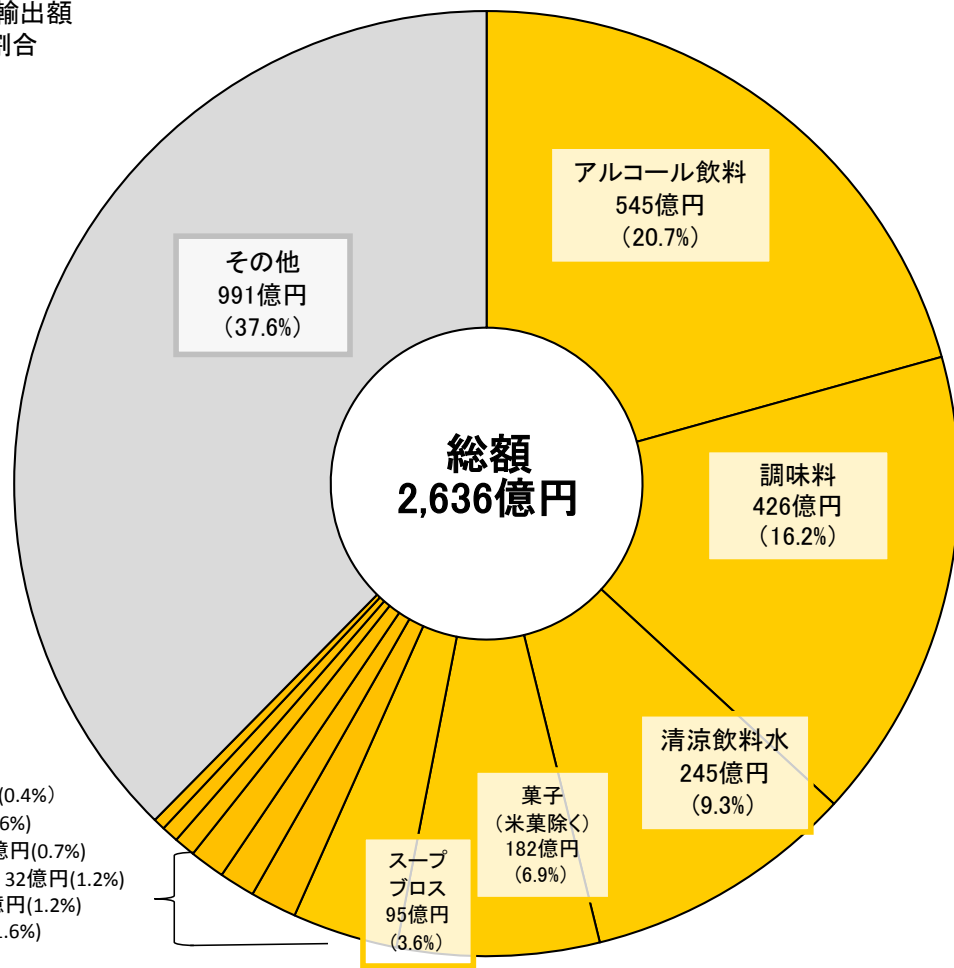
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

加工食品の内訳

●加工食品の品目別内訳をみると、アルコール飲料、調味料、清涼飲料水、菓子などの割合が多い。

(平成28年)

※カッコ内は輸出額に占める割合



(単位:億円)

品目名	平成28年	平成29年	増減率
アルコール飲料	430.0	545.0	26.8%
清酒	155.8	186.8	19.9%
ウイスキー	108.4	136.4	25.8%
ビール	94.9	128.7	35.7%
焼酎	14.7	15.4	4.8%
ぶどう酒	1.6	4.9	200.5%
調味料	395.7	426.3	7.7%
ソース混合調味料	273.7	295.9	8.1%
醤油	66.1	71.5	8.3%
みそ	30.6	33.3	8.9%
清涼飲料水	194.3	245.0	26.1%
菓子 (米菓除く)	181.6	182.2	0.3%
チョコレート菓子	91.9	87.9	▲4.4%
キャンデー類	64.6	68.2	5.7%
ビスケット	16.0	10.8	▲32.5%
チューインガム	9.1	7.9	▲13.2%
スープ・ブロス	83.3	95.0	14.0%
米菓	38.1	41.9	9.9%
ペプトン等	32.6	32.2	▲1.1%
デキストリン等	27.7	31.8	14.8%
レシチン等	16.0	19.2	20.5%
酵母	15.9	15.3	▲3.8%
香辛料	10.4	10.7	2.6%
その他	929.9	991.2	6.6%
加工食品 計	2,355.4	2,635.8	11.9%

「ソース混合調味料」…ソース、たれ、マヨネーズ、ドレッシング、カレールー等。
「スープ・ブロス」:スープや出汁の素。
「ペプトン」…牛乳や大豆のたんぱく質を分解したもので、食品添加物、培地等に使用。
「デキストリン」…でん粉を分解したもので、食感の改良や増粘安定剤等に使用。
「レシチン」…卵黄や大豆由来の脂質で、食品添加物、健康食品の原料等に使用。
「酵母」…ビール酵母等で、健康食品や飼料の原料に使用。

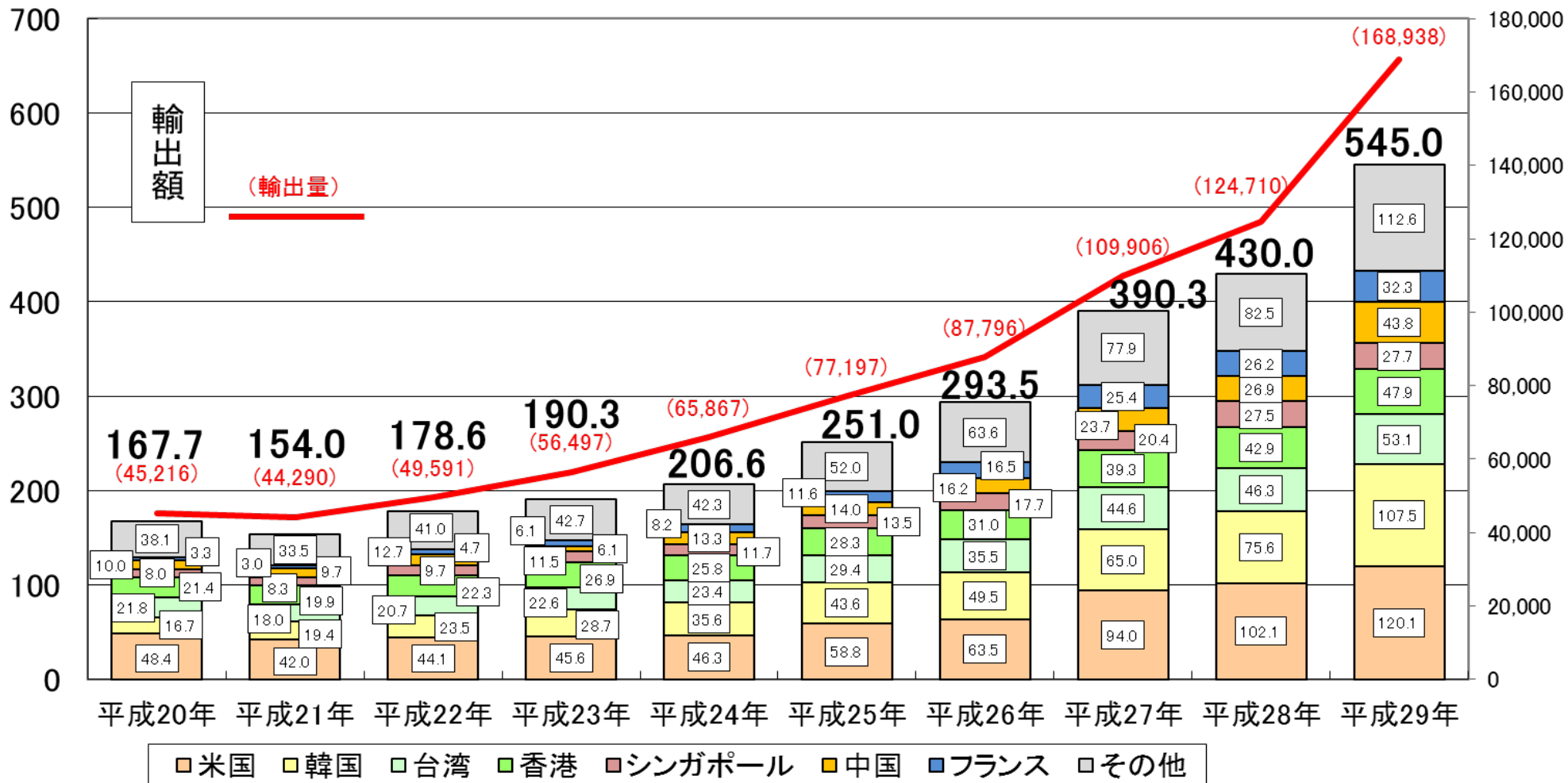
資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

アルコール飲料の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- アルコール飲料の輸出額は、増加傾向。
- 内訳をみると、日本酒(清酒)(187億円)が最も多く、次いでウイスキー(136億円)、ビール(129億円)。

(輸出額:億円)

(輸出量:キロリットル)

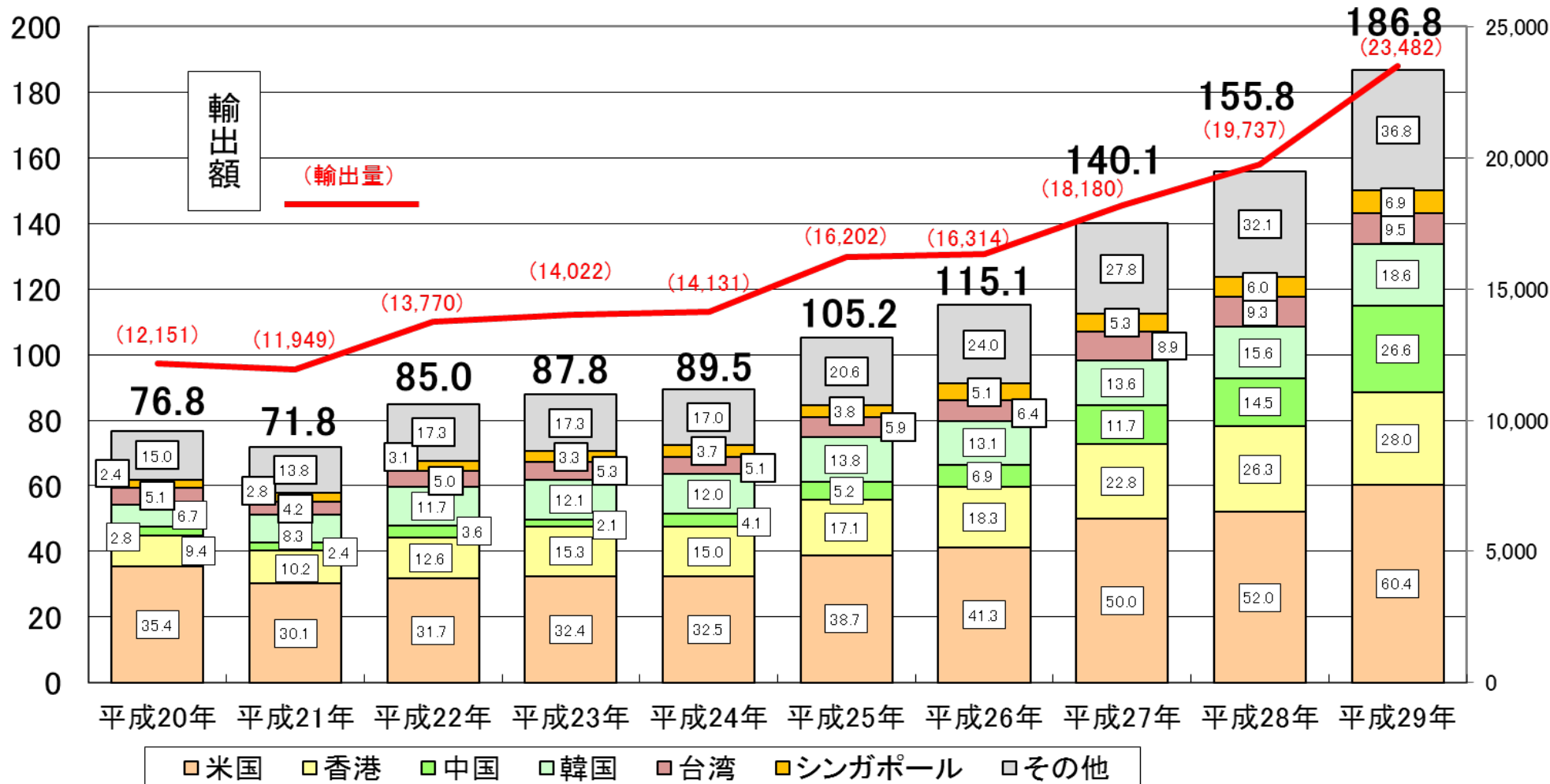


日本酒(清酒)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 日本酒(清酒)の輸出額は、日本食ブームを背景に増加傾向。
- 米国、香港、中国、韓国、台湾、シンガポール向けで全体の約8割を占める。

(輸出額:億円)

(輸出量:キロリットル)



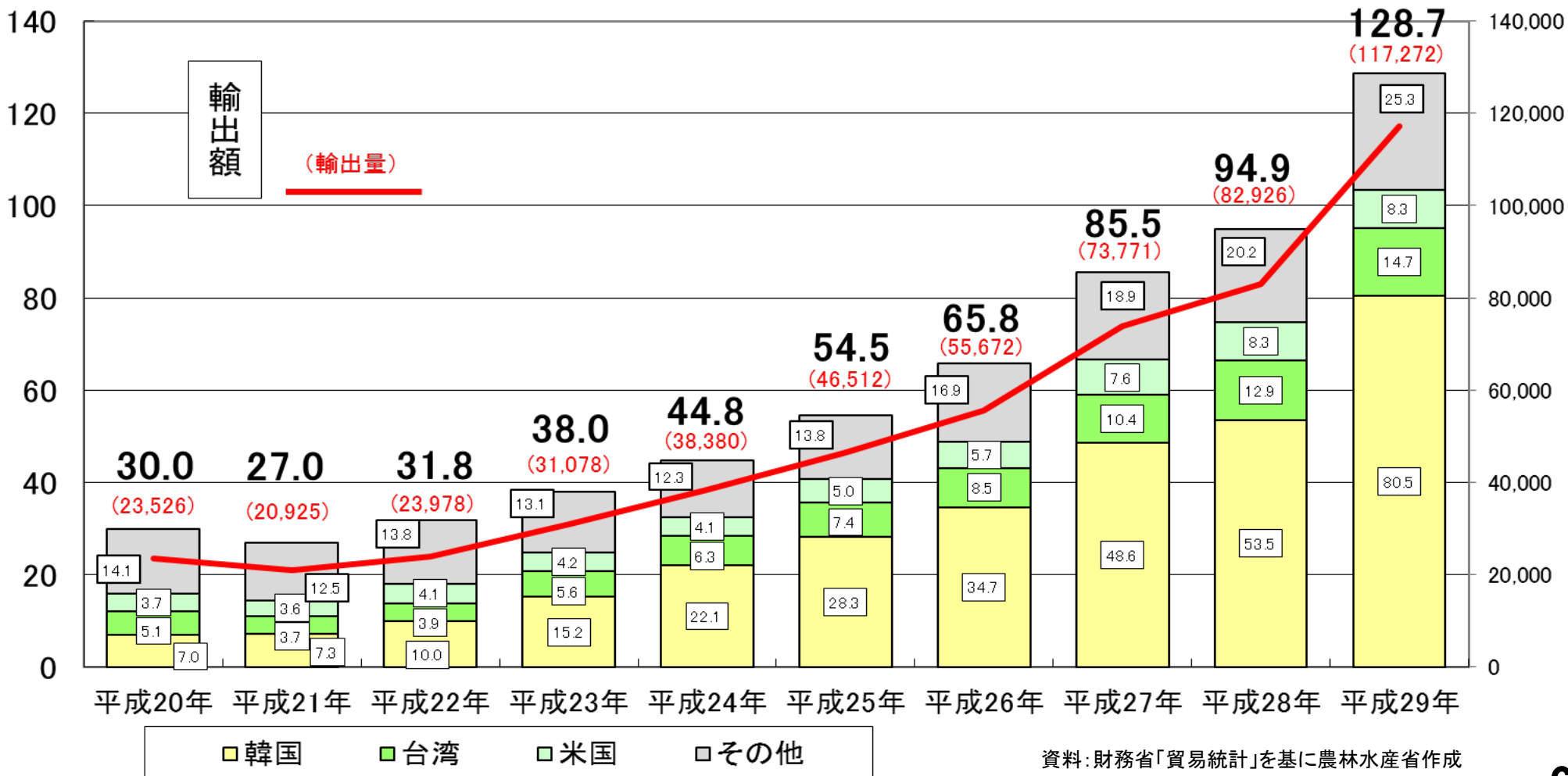
資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

ビールの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- ビールの輸出額は、日本食ブームを背景に増加傾向。
- 韓国、台湾、米国で全体の約8割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)

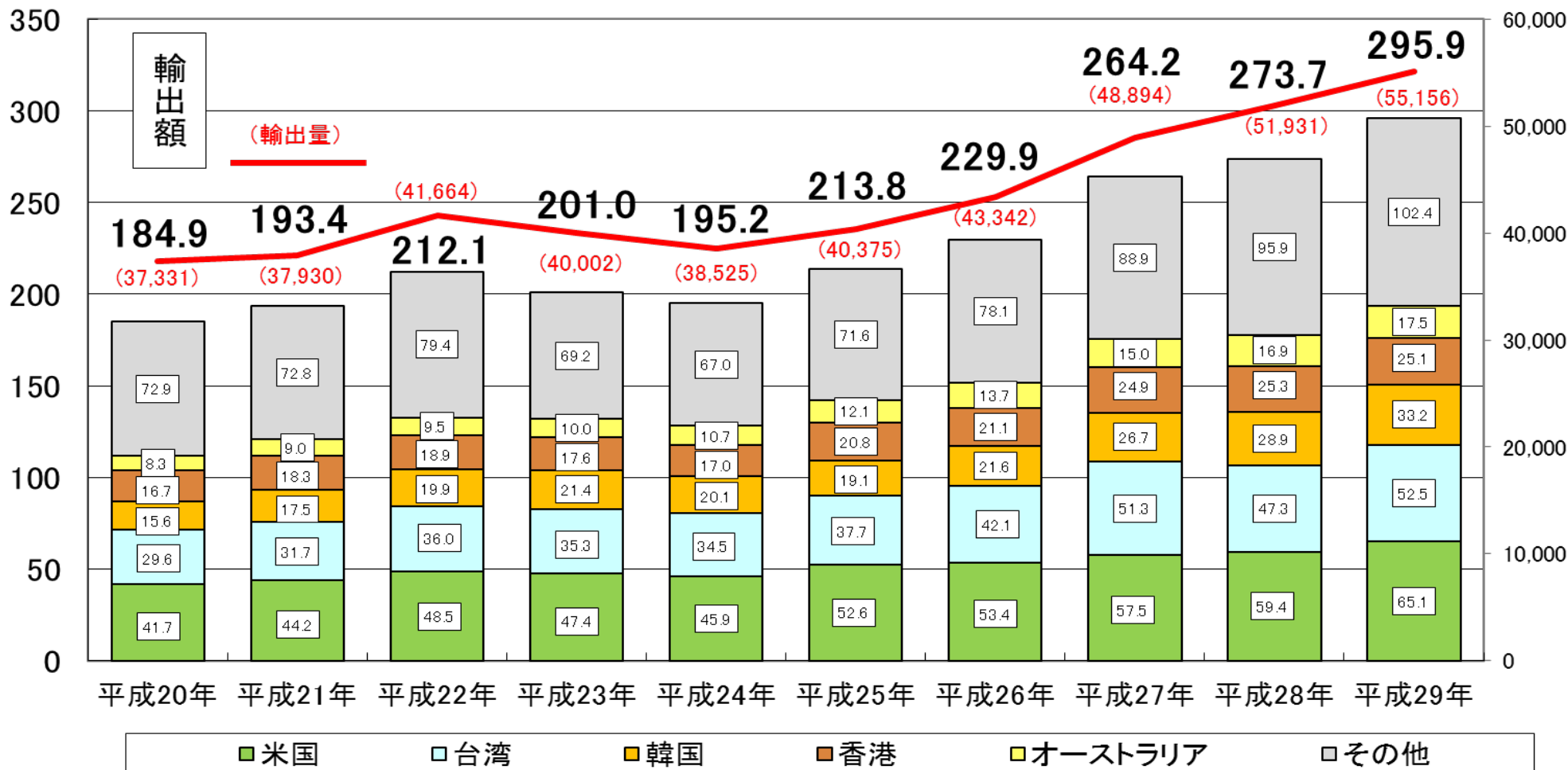


ソース混合調味料の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- ソース、たれ、マヨネーズ、ドレッシング、カレールー等の多種多様な調味料が、多くの国・地域に向けて輸出されている。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)

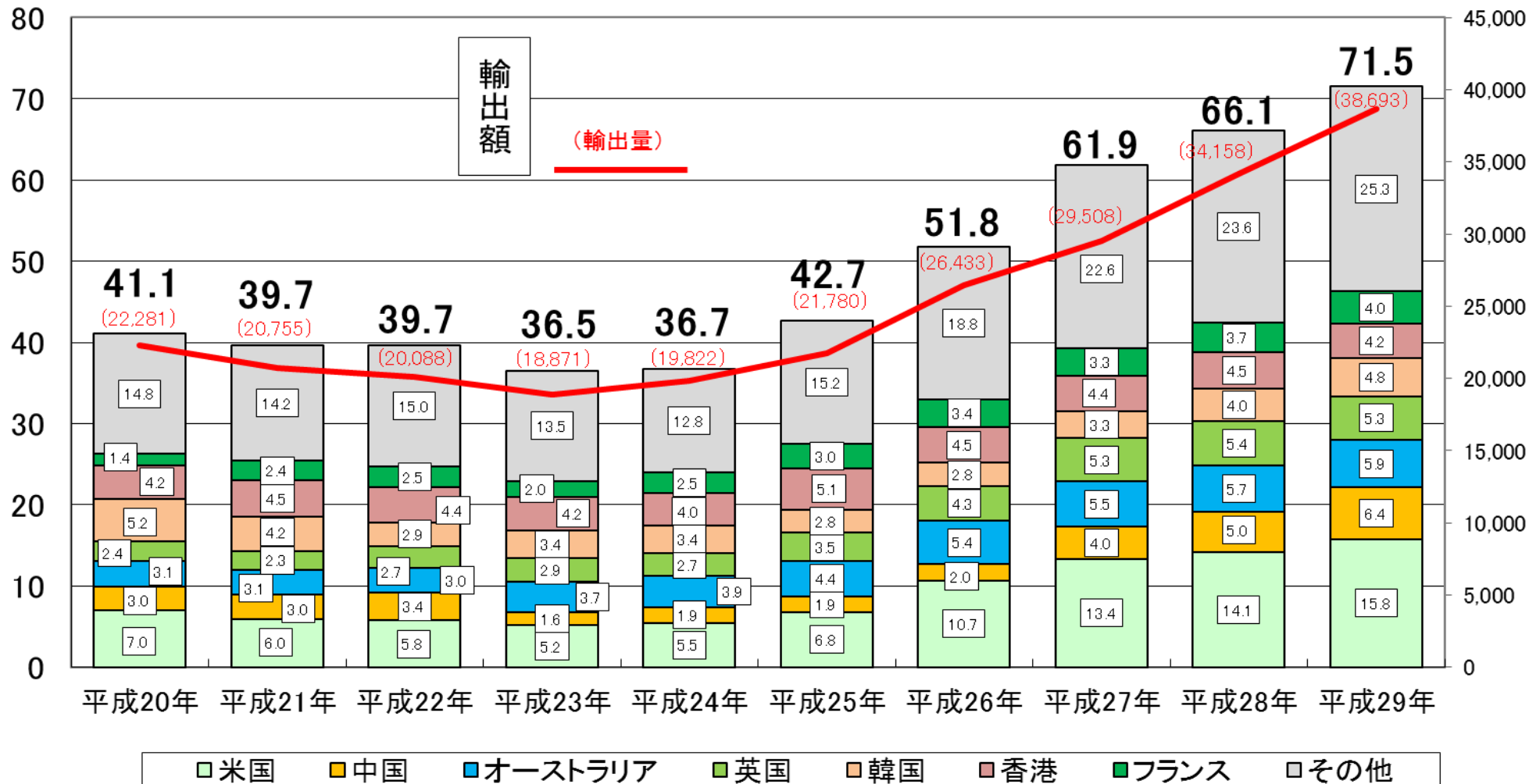


醤油の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

● 日本の調味料の代名詞として、多くの国・地域に向けて輸出されている。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)

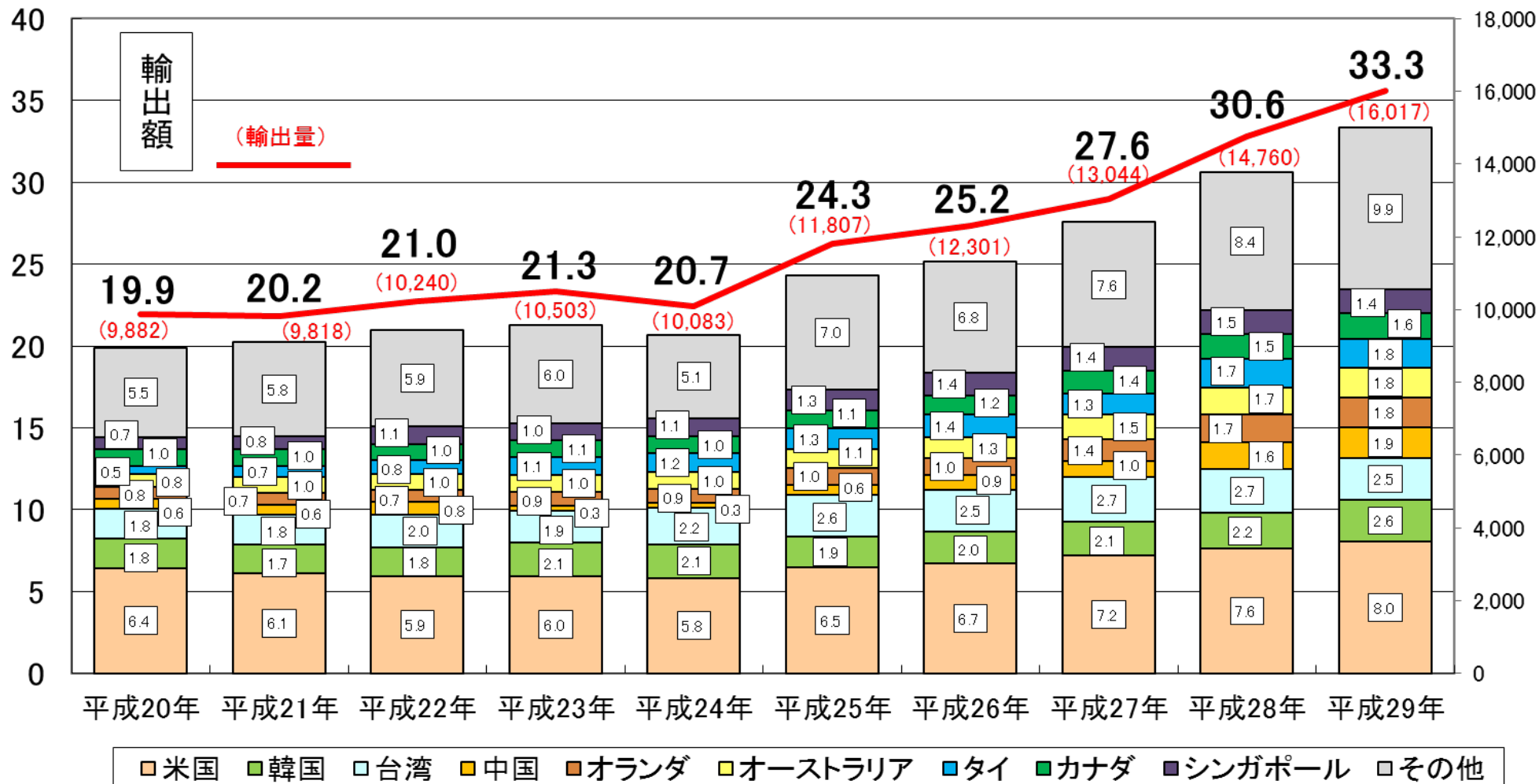


みその輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 日本食レストランの普及等に伴い、多くの国・地域に向けて輸出されている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)

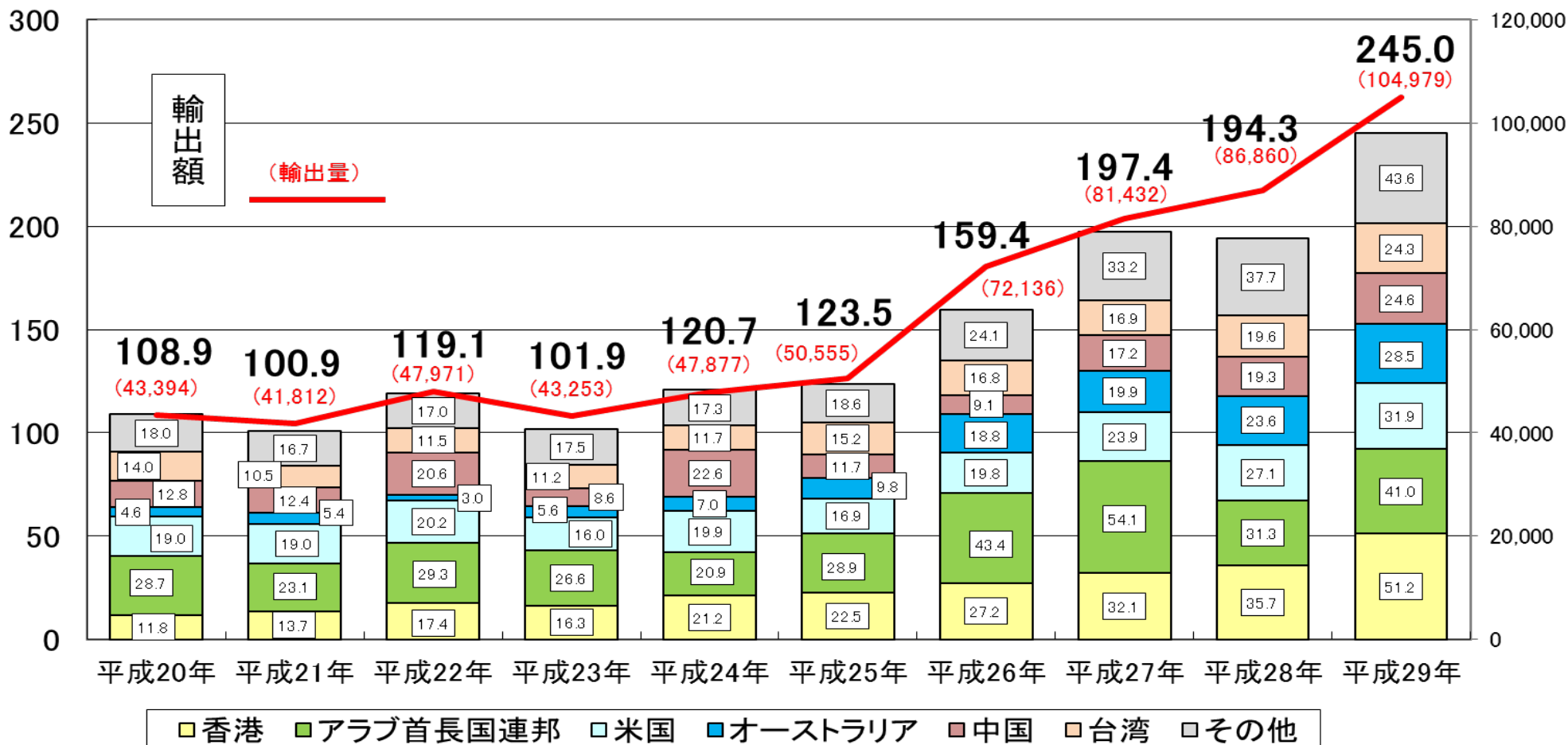


清涼飲料水の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 清涼飲料水の輸出額は、平成28年は最大の輸出先であったアラブ首長国連邦向けの回復により増加。
- 香港、アラブ首長国連邦、米国、オーストラリア、中国、台湾で全体の約8割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)

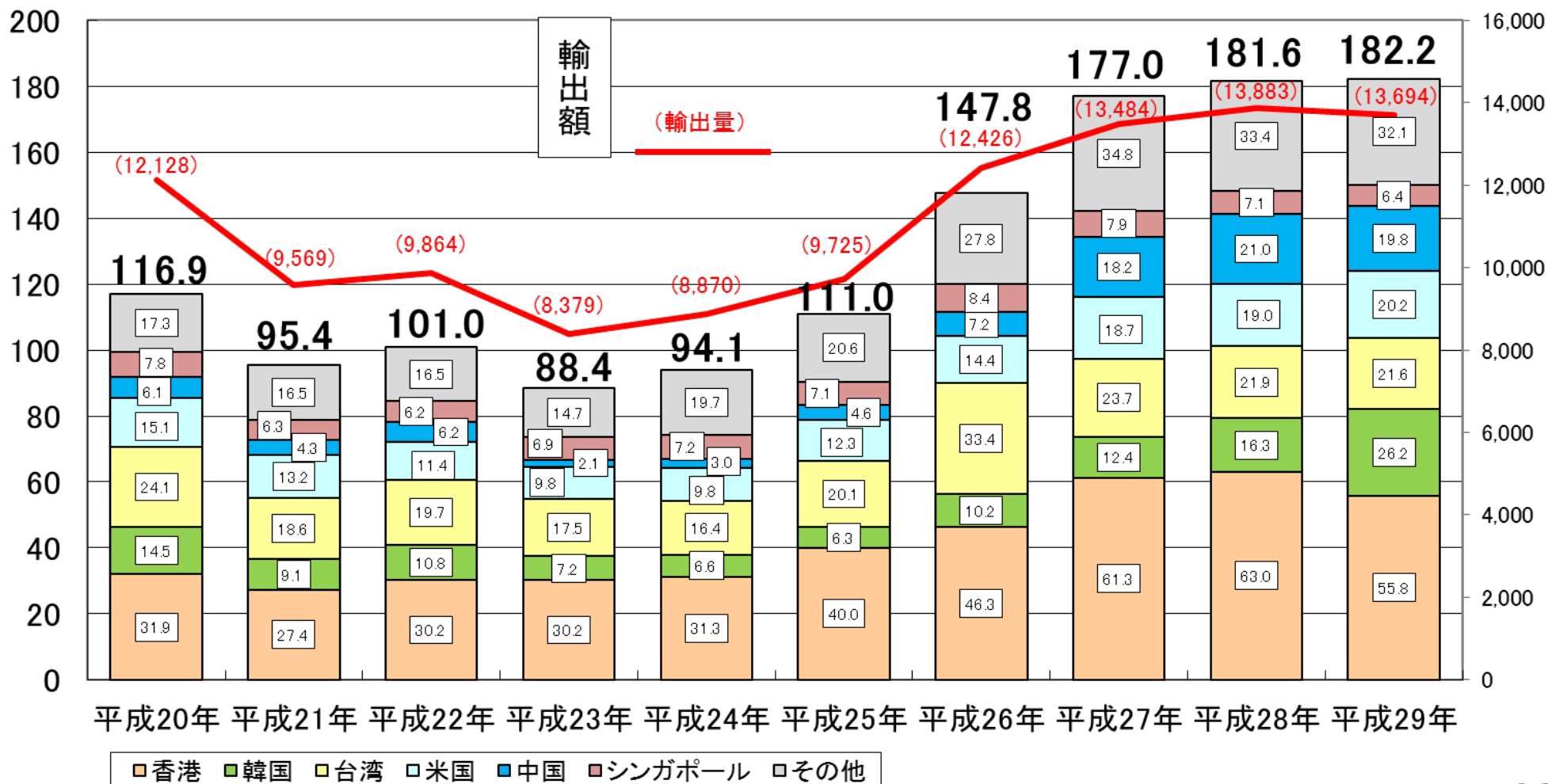


菓子(米菓除く)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 日本産菓子は高品質なものと認識されており、韓国向けには増加したが、香港や中国の需要減少を受け、伸びが鈍化。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)

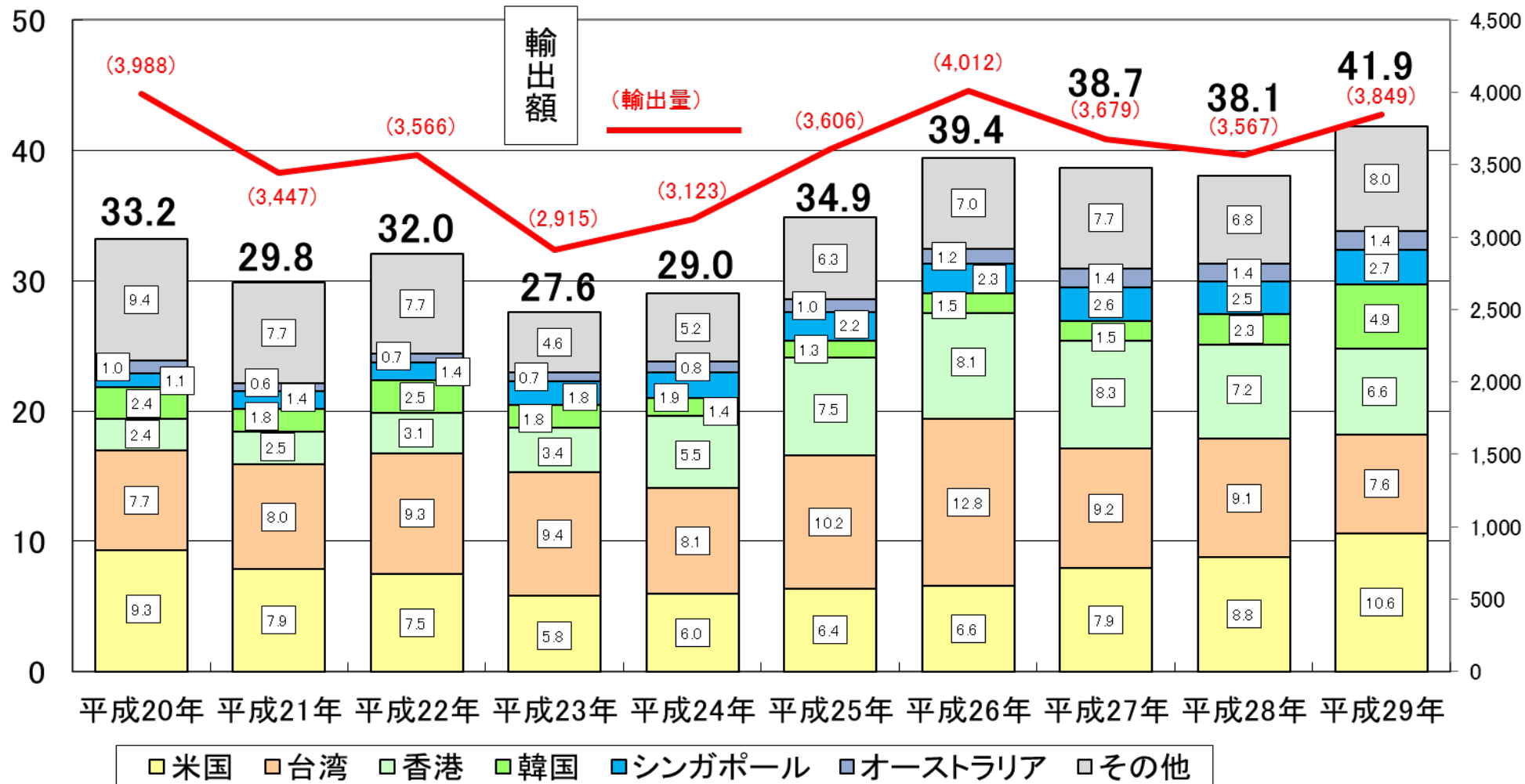


米菓の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 米菓の輸出額は、米国、台湾、香港、韓国、シンガポール、オーストラリア向けで全体の約8割を占める。
- 平成29年は韓国の需要増加を受け、全体的にも増加。

(輸出額: 億円)

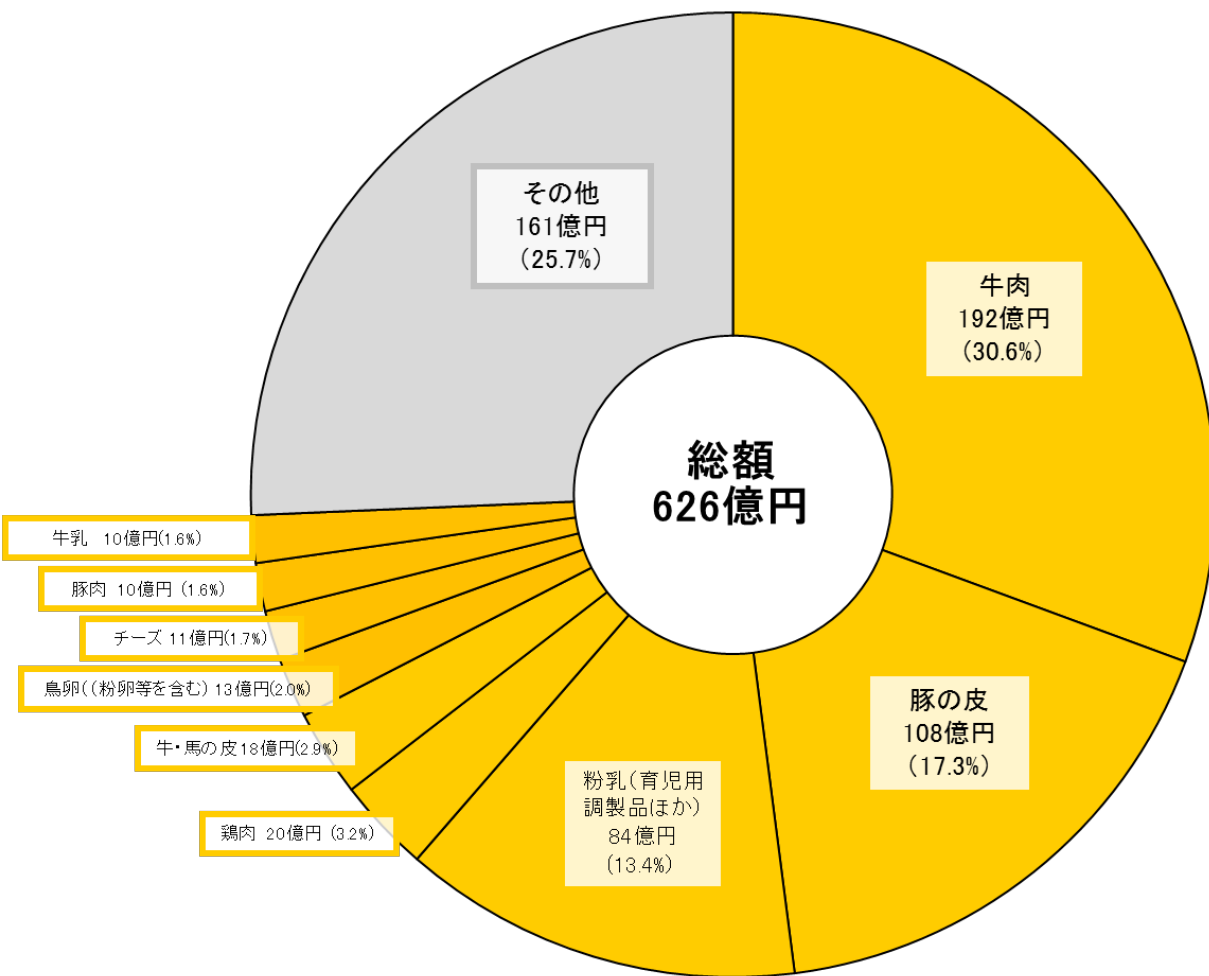
(輸出量: トン)



畜産品の内訳

●畜産品の品目別内訳をみると、牛肉の輸出が大幅に増加。

(平成29年) ※カッコ内は輸出額に占める割合



(単位: 億円)

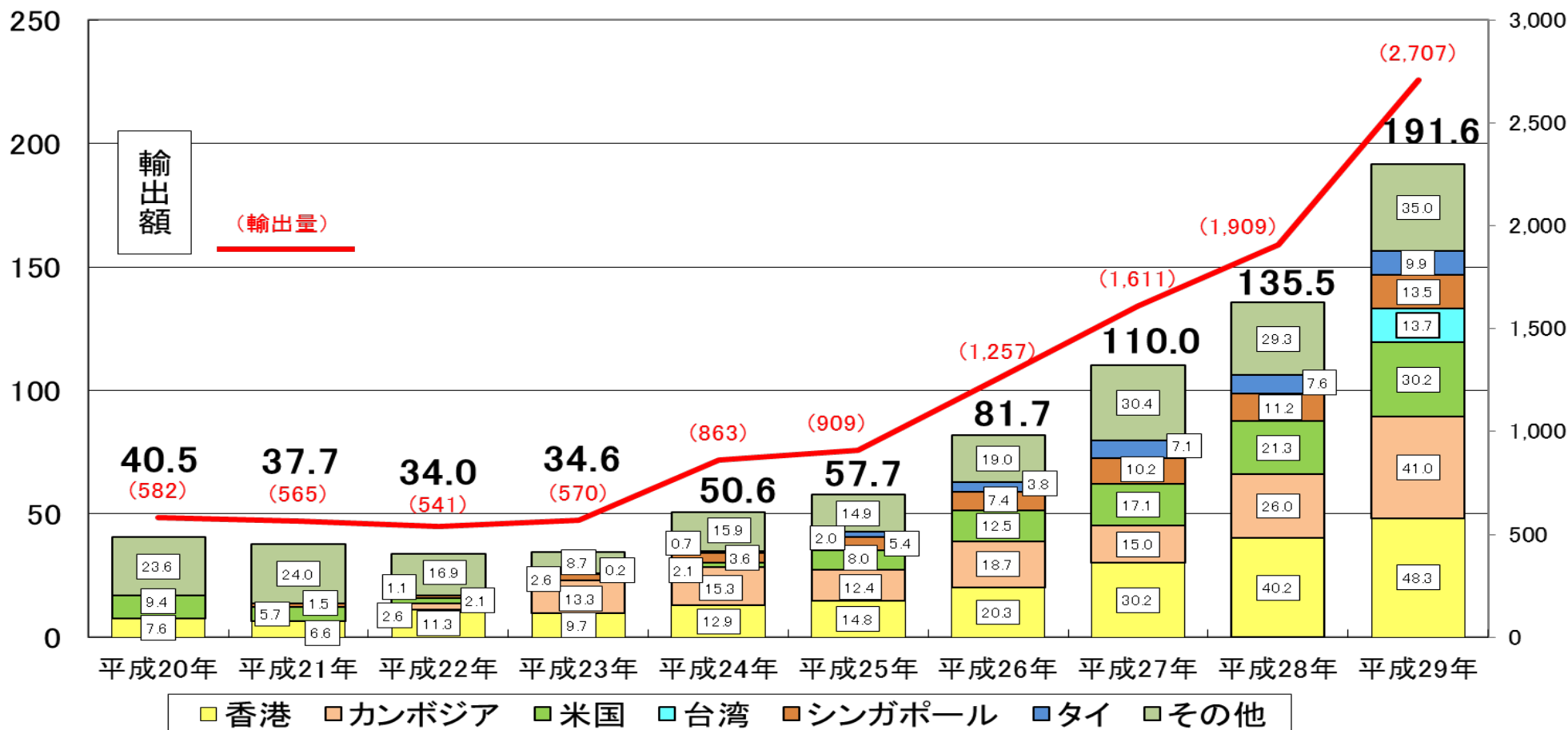
品目名	平成28年	平成29年	増減率
牛肉	135.5	191.6	41.4%
豚の皮	97.4	108.4	11.4%
粉乳(育児用調製品ほか)	77.3	84.0	8.7%
鶏肉	17.2	19.8	14.8%
牛・馬の皮	13.0	18.1	39.4%
鳥卵(粉卵等を含む)	10.2	12.5	22.2%
チーズ	9.6	10.5	9.7%
豚肉	8.5	10.1	18.9%
牛乳	8.6	10.0	15.2%
その他	133.1	160.6	20.7%
畜産品計	510.4	625.5	22.6%

牛肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 平成20年から23年の輸出は、口蹄疫発生、原発事故等の影響によって輸出が一時停止したことに加え、円高の影響もあり、横ばいで推移。
- 平成24年の対米輸出再開、平成26年の対EU輸出解禁、平成29年9月には対台湾輸出再開等により輸出可能国が増加するとともに、輸出団体等のプロモーション効果等もあり、近年、輸出は順調に伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)

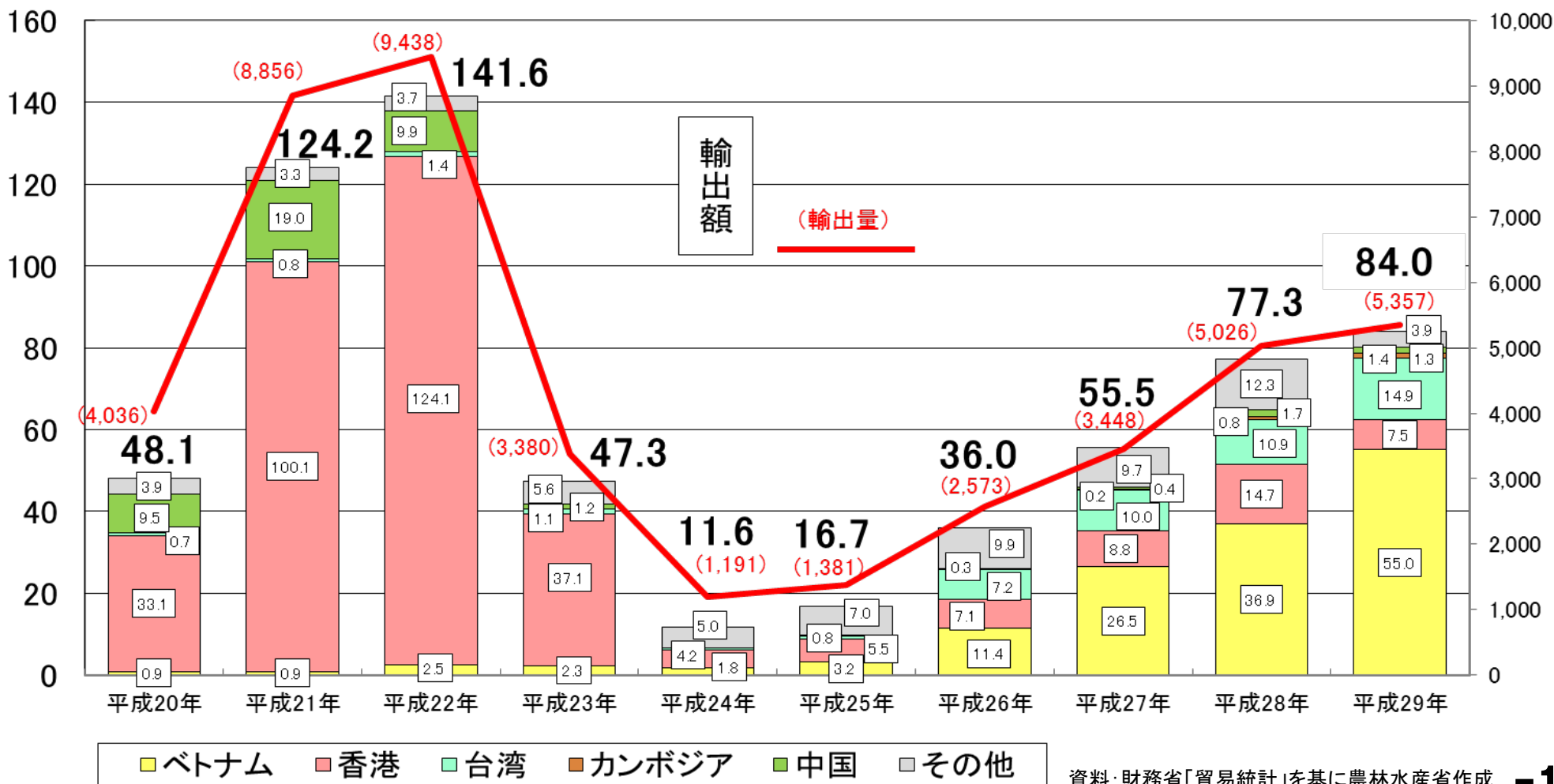


粉乳(育児用調製品ほか)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 中国におけるメラミン混入事案(平成20年)を背景として、香港における日本産粉乳(育児用調製品ほか)に対する需要増により輸出額が増加。その後、東京電力福島第一原発の事故等の影響により輸出額は大きく減少したが、平成25年から回復傾向。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)

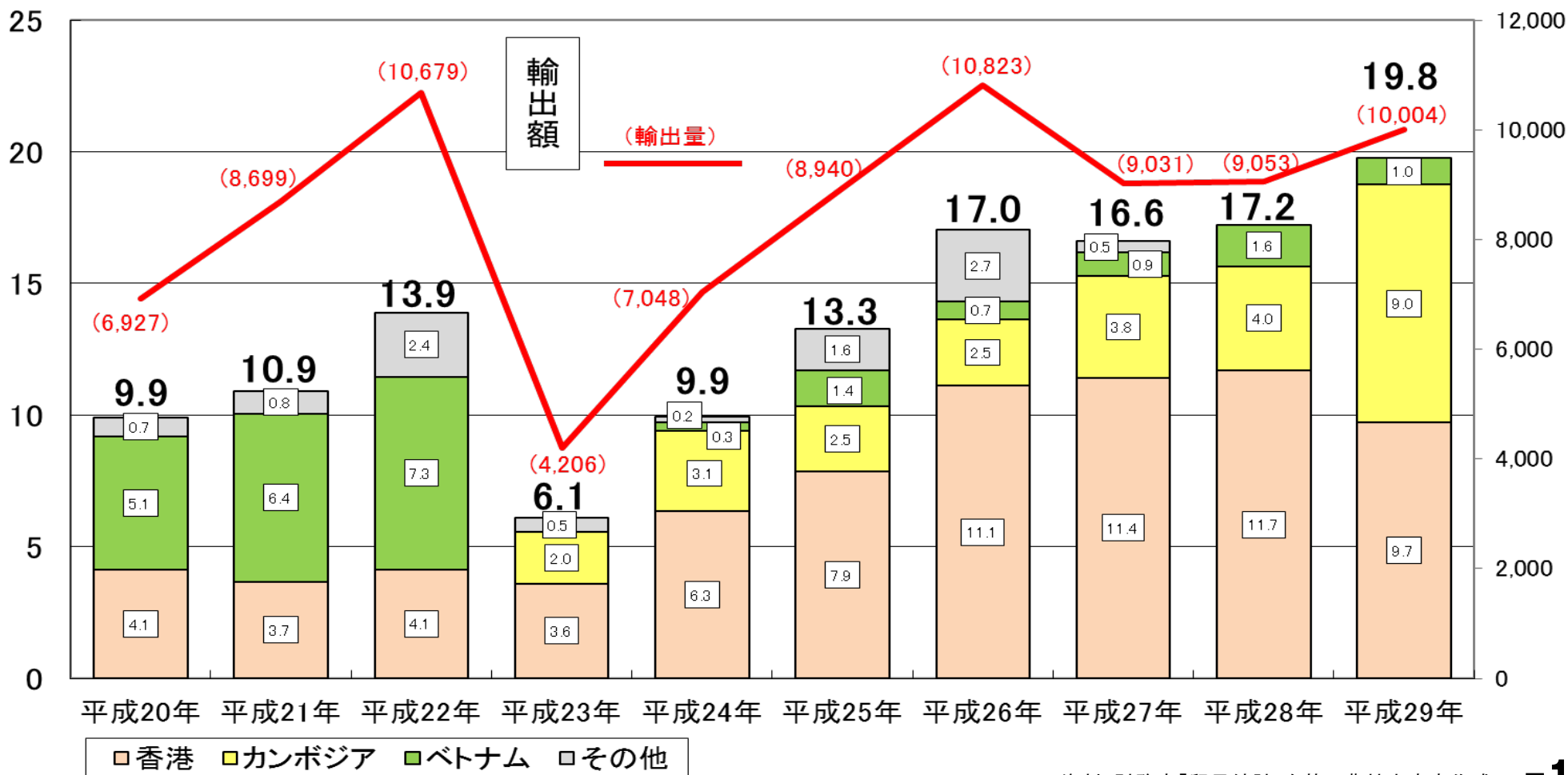


鶏肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 鶏肉の輸出は香港向けのシェアが多いが、平成29年はカンボジア向けが大きく増加。
- 東日本大震災の影響を受けて一時減少したが、その後、震災前の水準を超えて伸びている。
- 平成26年末及び平成28年11月に発生した鳥インフルエンザの影響により、一部の輸出先国への輸出が停止していたが、平成29年6月にOIEの規定により清浄国となり、台湾を除く全ての国で輸出再開し増加傾向。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)

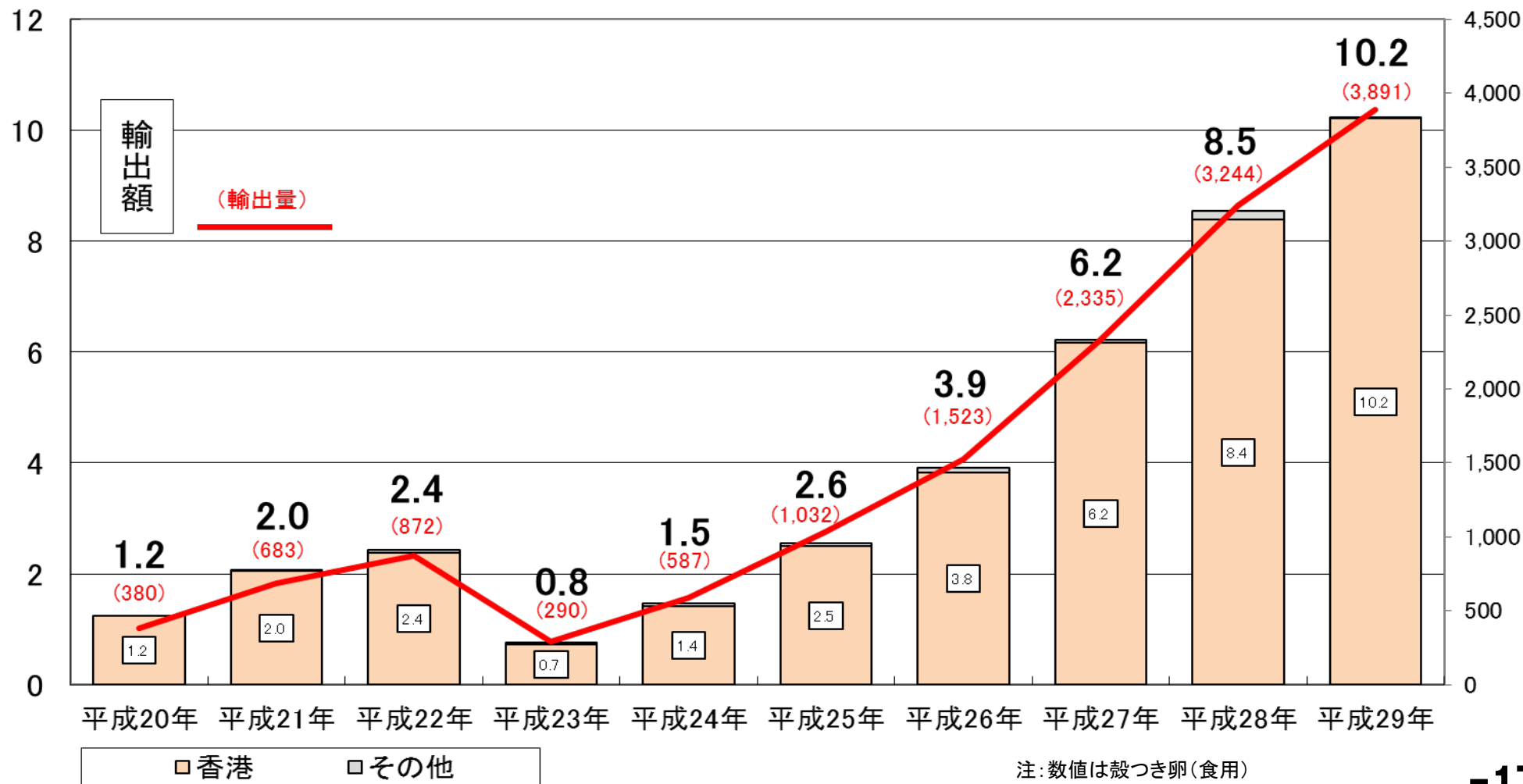


鶏卵の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 鶏卵の輸出は香港向けが大半を占めているところ。
- 東日本大震災の影響を受けて一時減少したが、その後、震災前の水準を大きく超えて伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)

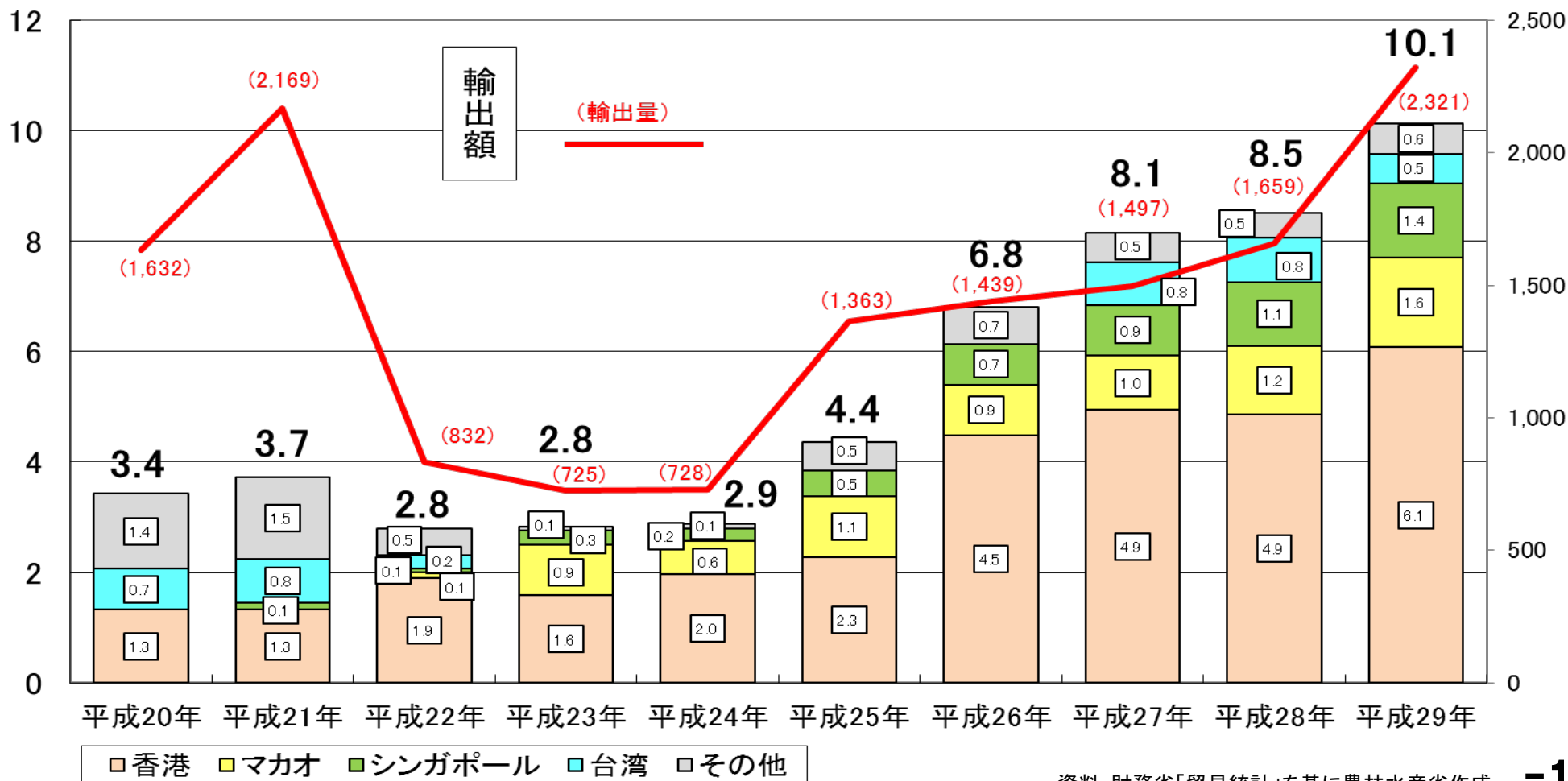


豚肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 豚肉の輸出は、香港をはじめ、マカオ、シンガポール、台湾向けが大半を占めているところ。
- 平成22年から24年にかけて、口蹄疫発生、原発事故等の影響により輸出が停滞したが、平成25年には回復。
- 平成26年以降、日本食レストランに対し和牛と合わせて売り込む等により、香港、シンガポール向けの輸出が増加しているところ。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)

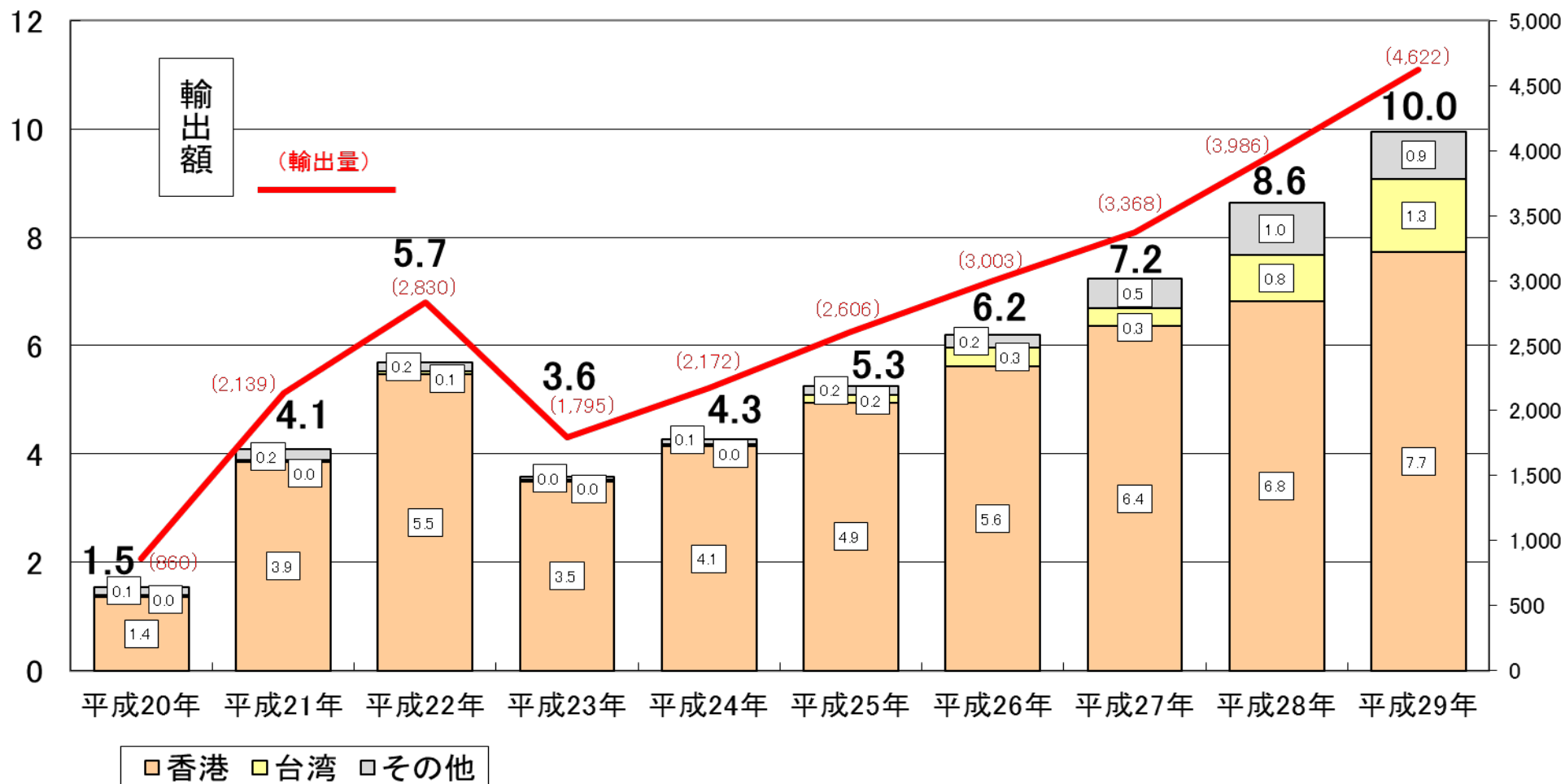


牛乳の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 中国におけるメラミン混入事案(平成20年)を背景として、香港における日本産牛乳に対する需要増により、輸出額が増加。その後、平成23年の東京電力福島第一原発の事故等の影響により、輸出額は大きく減少したものの、平成24年以降、再び増加し、平成27年からは震災前の水準を超えて伸びている。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)

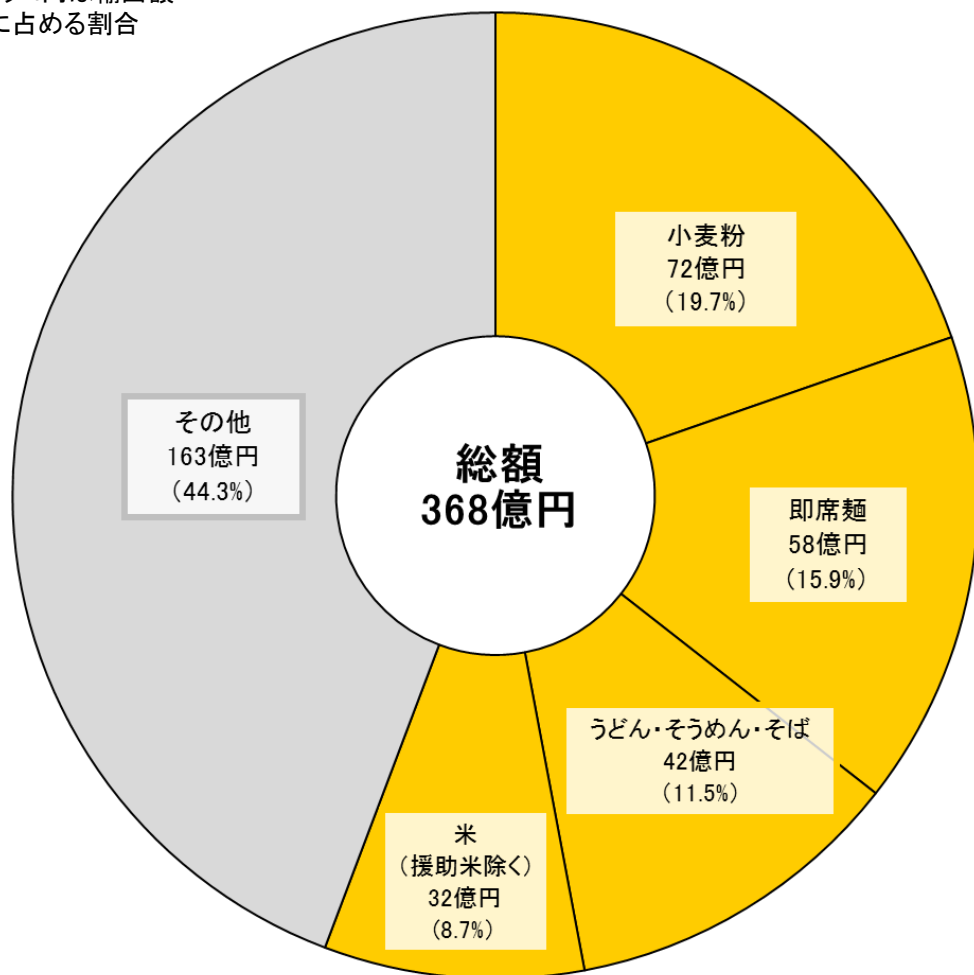


穀物等の内訳

●穀物等の品目別内訳をみると、小麦粉、即席麺、うどん・そうめん・そばなどの割合が多い。

(平成29年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位:億円)

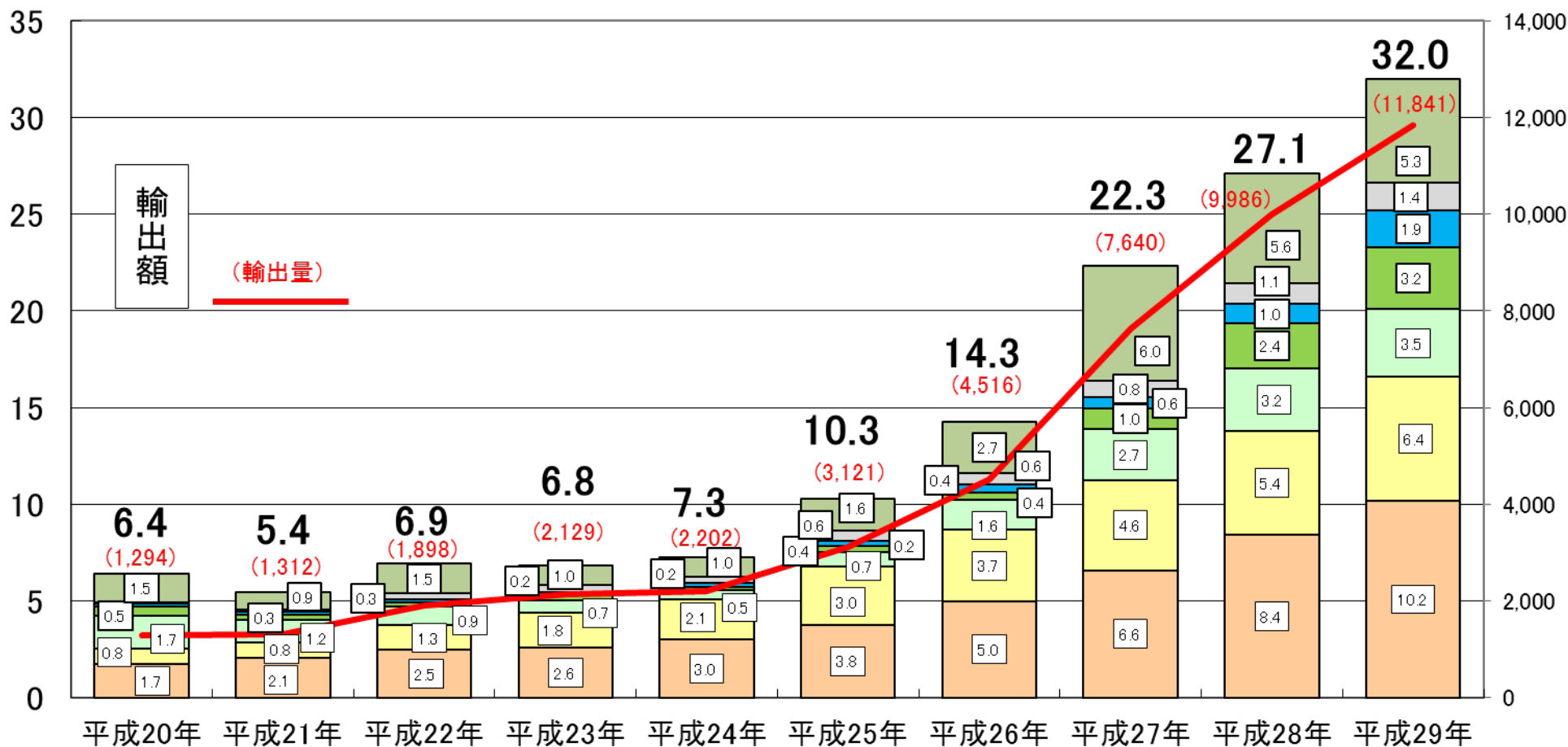
品目名	平成28年	平成29年	増減率
小麦粉	68.6	72.3	5.4%
即席麺	51.4	58.4	13.5%
うどん・そうめん・そば	40.8	42.2	3.5%
米(援助米除く)	27.1	32.0	18.1%
その他	190.0	162.6	▲14.4%
穀物等計	377.9	367.5	▲2.8%

米(援助米除く)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 援助米を除く、商業ベースの米の輸出額は、香港、シンガポール、台湾、米国向けが牽引して増加傾向。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



■ 香港
 ■ シンガポール
 ■ 台湾
 ■ 米国
 ■ 英国
 ■ 豪州
 ■ その他

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成